

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 国際ロータリー会長 K. R. "ラビ" ラビンドラン



2015-2016年度

会長:丸山弘昭 幹事:田中正次 クラブ会報委員長:川中有志

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2016 June 22

■ 2015~2016年度方針

“楽しくそして為になるRCを!!”

NO.44

例会報告

●第2132回例会 平成28年6月22日(水)曇

●6月はロータリー親睦活動月間

●ロータリーソング 手に手つないで

●出席報告 会員 107 名中 出席73名
(96)

出席率76.04% 修正出席率77.17%
(6月8日分)

●ビジター紹介

酒井 和雄君 (あまRC)

●ニコボックス

「いよいよあと一回の例会を残し丸山年度も終わりです。クラブ計画をしっかり実行して下さいました各委員会の皆様、各委員長ありがとうございました。あとは活動報告のまとめをよろしくお願い致します。」

丸山弘昭会長、加藤一郎副会長、田中正次幹事「日曜日のゴルフ通の会で思いもかけず優勝しました。前回ゴルフコンペで優勝したのは思い出せないほど昔のことですので感激しています。足を引っ張らなかった同伴者の松原先生と安井隆豊さんに感謝します。」 近藤東臣君

「先日麻雀大会で最終戦オーラスで逆転年間優勝をさせていただきました。最終に振込で頂いた安井信之様本当にありがとうございました。」

山田和弘君

「8月28日にピンクレディーのミィさんと吉田次郎さんとのデュオライブが行われます。ロータリー用の席を用意しておりますので、是非ご参加の程よろしくお祈りします。」 間地 寛君

本日のニコボックス	4件	19,000円
累 計	174件	1,862,000円

田中正次幹事報告

▽当クラブ行事予定

・6月22日(水) 本日例会終了後、入会5年未満の方のロータリー情報委員会の勉強会を開催致します。

※入会5年未満の方、ロータリー情報委員会の方はご出席をお願い致します。

・6月29日(水) 新旧理事会を開催致します。

今年度 17時~17時30分

新年度 17時30分~18時

懇親会 18時~

場所はか茂免です。

・7月20日(水) 納涼夜間例会です。時間は18時~です。場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。

※お昼の例会はございません。

丸山弘昭会長挨拶

“私の心の師匠 稲盛和夫”

先週に続き、私になるほどと思い、密かに信奉し、心の師匠としている経営者の話をします。

今日は京セラ創業者の稲盛和夫さんです。

先週、松下幸之助さんの話をしましたが、稲盛さんが松下幸之助さんのダム経営の話聞いて、人が事を成すには何事であれ、まず「そうありたい」と強く願望することが大事であると悟った話をしました。これは私の想像ですが、稲盛さんは松下幸之助さんからダム経営に限らず、多くのことを学んでいたと思っています。

ご存知の様に稲盛さんはJALを見事に再生させました。JAL再生の依頼を受けた時、多くの周囲の人から「晩節を汚すようなことはしない方が良い」と助言されたそうですが、自分なりの大義名文からJALの会長を引き受けました。

そこで今日はJAL再生を題材にして稲盛さんの経営についてお話します。稲盛さんがJAL再生に当たり持ち込んだのは京セラで実践してきた①フィロソフィと②アーマー経営です。この2点を話します。

まず第一にフィロソフィですが、これは組織の全員に意識改革を促すものです。稲盛さんは27歳の時、自らの技術を世に問う為、京都セラミック工業を設立します。日々経営に悪戦苦闘する中で経営のぶれない軸、判断基準となる京セラフィロソフィを作り、自らが先頭に立って経営に当たります。稲盛さん自身『フィロソフィとは、私の50年の経営者としての経験を基にした経営哲学で経営者を含め全社員が同じ価値観を共有し、行動するための指針です。その基本は「人間として正しいことをする」というとてもプリミティブ(原則的な)考え方です』と語っています。

ちなみに稲盛さんは自らの経営の原点として経営12箇

条を制定しており、その第1条は「事業の目的・意義を明確にする」です。第2条は「具体的な目標を立てる」、第3条は「強烈な願望を抱く」です。JALでは50名程の経営幹部に対し、稲盛さん自身が講師となり、京セラフィロソフィの勉強会を開き、意識改革を迫ったそうです。経営幹部への勉強会がスタートして半年後にはJALフィロソフィが制定され、今では全社員への「JALフィロソフィ」教育が行われています。

第二はアメンバーシステムです。これは全員参加型経営を確立するための管理会計システムです。27歳で独立した稲盛さんは会社が大きくなるにつれ多忙を極めます。製品開発、製造、販売に常に自らがトップとして仕事しなければならず、限界に達します。そんな時に自分の分身として仕事をしてくれる仲間を強く求めます。そこで考えついたのがアメンバーシステムです。複雑な会社の経営を管理可能な小さな集団（アメンバー）に分け、アメンバーのリーダーに仕事の責任者をお願いするシステムです。会社全体のリーダーとなると人並みの力量では管理できなくても、10人程度の小集団（アメンバー）であればリーダーを担える人が多くいます。京セラでは各アメンバー毎の採算計算表を毎月作成し、各アメンバーが前月の実績が1時間当たり、いくらの付加価値（時間当り付加価値）を生み出したのかを示し、付加価値向上の為の努力を促す仕組みです。アメンバーのリーダーになることでミニ経営者能力が身につくこととなります。JALにあってもアメンバーシステムは導入され「正しい数字を基に経営を行う」経営が実行されています。

私は稲盛さんが50年の経営者経験を基に築き上げた、フィロソフィ（経営哲学）とアメンバーシステム（管理会計制度）を基に全員参加型経営を行うことは、変化が常態化している現在の経営環境の下で生き抜く為の経営の王道であると強く思っています。

会員の皆様のご参考になれば幸いです。

卓 話

燃費データ問題と今後について



ご協力を頂き、無事運営できましたこと感謝申し上げます。

さて、本日は、昨今話題の燃費データ問題についてお話しさせていただきます。

日本では1972年より10モード、1991年より10・15モード、2011年からはJC08モードという走行モデルを使った燃費測定が行われ、より実走行に近い測定方法が協議され

改良されています。

今回の三菱自動車の問題は、この走行モデルを使用した燃費測定結果に、走行抵抗を加味するところで、「より燃費を良く見せるための改ざんが行われたのではないかと疑われました、正しい方法で測定すると5%~10%の水増しが行われていたという報告もあり、大きな問題となりました。スズキにも疑念が指摘されましたが、現在の日本も含め、海外においても燃費が良いことが販売競争力の一つになっている以上今後の動向には目が離せません。

弊社は、約20年前に開発した燃費改善製品のリコール問題を通じて、商品の回収、返金、在庫商品の廃棄を通じて売上がゼロ、約2億円の借金を抱えるという大きな損出を生みました。しかし、「燃費は人の意識が大きく影響すること」を学び、燃費データを主軸としたコンサルティング事業に転身、約5年で返済を終え、大きく生まれ変わることができました。今では、大手自動車会社のビックデータ解析をはじめ、環境省・自治体・トラック協会・運送会社（1200社）など様々な団体・企業のコンサルを行うまでになりました。

2年前にはニューヨークの国連本部、昨年は名古屋とパリでエコドライブカンファレンスを行い、世界への発信も行っております。今年には11月に国連カンファレンスを行いますので、ご興味のある方は是非ニューヨークへお越しください。

最後に、国連へのきっかけを作ってくださった田中正次様に感謝申し上げます、卓話と致します。

●No.42のゲスト紹介とニコボックスに誤りがございましたので下記の通り訂正させていただきます。

[誤] 荒川久美さん

→[正] 荒山久美さん（名古屋アイリスRC）
訂正してお詫び申し上げます。

例会	月日	今後の予定
第2133回	6.29	丸山弘昭会長挨拶 「1年間の振り返り」
第2134回	7.6	高木一平新会長挨拶 「新年度を迎えるにあたって」
第2135回	7.13	マーケティング アイズ 代表取締役 関西学院大学 経営戦略研究科准教授 理央 周氏「最先端のマーケティング」
第2136回	7.20	納涼夜間例会 出席100%表彰 18:00~ ウェスティンナゴヤキャッスル (お昼の例会はございません)
第2137回	7.27	会員 加藤 重和君 「王立プノンペン大学日本語学科竣工に寄せて」

○このウィクリーは再生紙を使用しております。